

リスクリソース人材育成事業 令和6年度実績報告及び令和7年度進捗状況について（報告）

1 リスクリソース人材育成事業について

(1) 目的

- 企業内のDX人材の育成や業務の効率化、人材の再配置等を推進するため、個々のスキルに応じたオンライン講座により、県内中小企業等の従業員にリスクリソースの機会を提供する。

(2) 主な事業内容

- 県内中小企業等で働く従業員に対し自身の持つデジタルスキルの見える化を行い、スキルに応じた学習計画を組立てる。
- 受講者に対し組立てた学習計画に合ったオンライン講座を提供する。オンライン講座を受講する中で受講者に伴走し進捗管理やモチベーションの維持、課題・ワークのフォローなどの支援を行う。
- 業務内容の変化や今後新たに発生する業務で必要とされる知識やスキルを習得する「学び続ける人材＝自律型学習人材」の育成を行う。

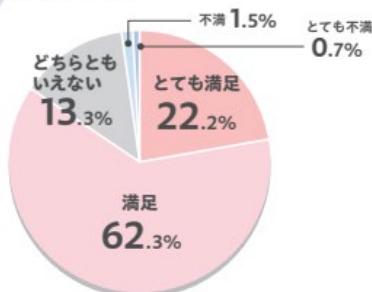


2 令和6年度の実績報告

受講者アンケートによる結果は以下のとおり。（回答数：135名）

Q1

本事業の参加満足度を教えてください

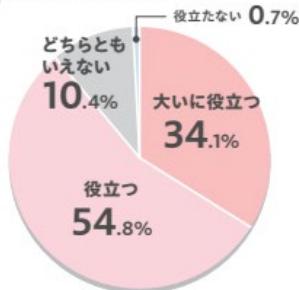


コメント

- DXやIT、システムに対する知識が乏しかった私にとって、DXの考え方を身近に感じられたことは非常に良い経験でした。また、未知の分野で学ぶことの意義を実感することができました。
- 自社でのDX推進が求められる一方で、職場内にはDXについて学ぶ機会や指導者が不足しており、何を学べばよいのかも分からず状況でした。そのため、今回このような学びの場を得られたことは非常にありがとうございました。
- 日々の業務に追われる中で、新しいことを始めることが難しい状況でしたが、今回のリスクリソース事業に参加することで、新たな挑戦を始める良いきっかけとなりました。

Q2

今回の事業で学んだことは業務に役立ちますか？

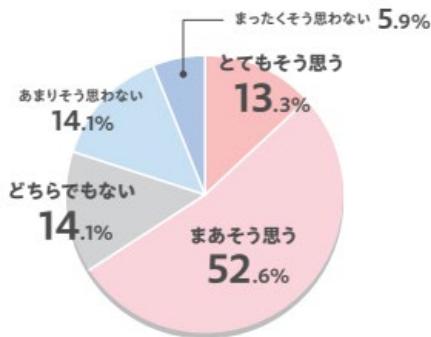


コメント

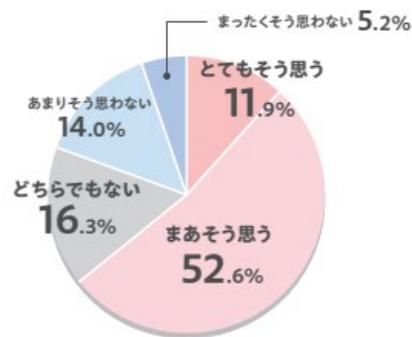
- これまでできていなかった過去の販売実績を基にした予測が可能となるデータのまとめを行いました。
- システム導入や業務改善の検討に際して、学んだことを形にするための資料作成に取り組んでいます。具体的には、業務の可視化のためのフローチャートやシステムアーキテクチャを作成し、会議中の資料として使用しています。その結果、現状把握がしやすいと評価されています。
- SNSやホームページの運用に関するコツを学ぶことができました。

Q3

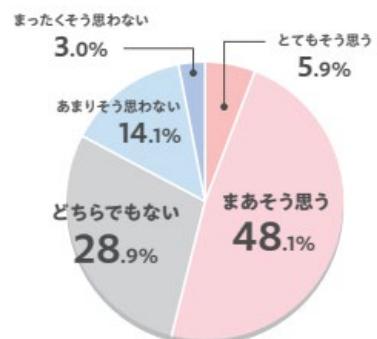
データやデジタル技術の
利活用にあたり、
抵抗感なく挑戦できると感じますか？

**Q4**

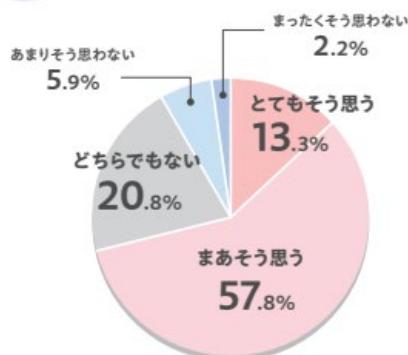
自社のDX推進のプロジェクトや
動きの中に参画し、
貢献することができると感じますか？

**Q5**

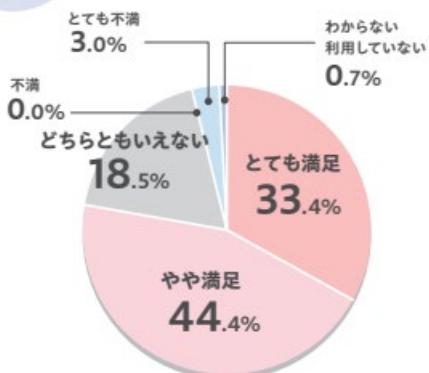
自社のDX推進の知識や
経験が足りない領域について、
自ら学び続けていけると感じますか？

**Q6**

取組みを続けることで
今後成果を出すことができると
感じますか？

**Q7**

ラーニングパートナーの
満足度を教えてください。



<受講者からの声>

- 受講の際、ラーニングパートナーによる伴走支援を受けたことで、モチベーションを維持することができた。
- 学んだ内容を活用して、新システムの構築に向けた課題を可視化することができた。
- 売り上げ増加や、新規顧客の獲得に結び付いた。

- ・中小企業で学習の機会を提供できる会社は多くない。得た知識は業務の改善につながっていると実感している。
- ・中小企業は元々低付加価値かつ従業員に余裕がないが、人材育成は大切で、人材育成を行う企業とそうでない企業で今後大きな差が生じてくると思う。教育の仕組みについて再検討するきっかけとなった。

3 令和7年度の実施状況

- 応募企業 215社／484名
- 受講企業 154社／386名(1社最大3名、対象：経営者、管理職及び従業員 等)

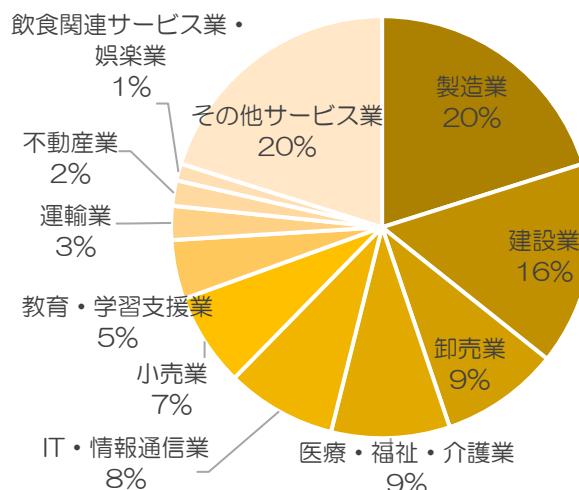
＜令和6年度からの変更点＞

- 【経営者・管理者向け】DX推進コースを新設
- 令和6年度受講企業へのアンケートで効果検証を実施
- 100社(300名)を150社(450名)に拡大

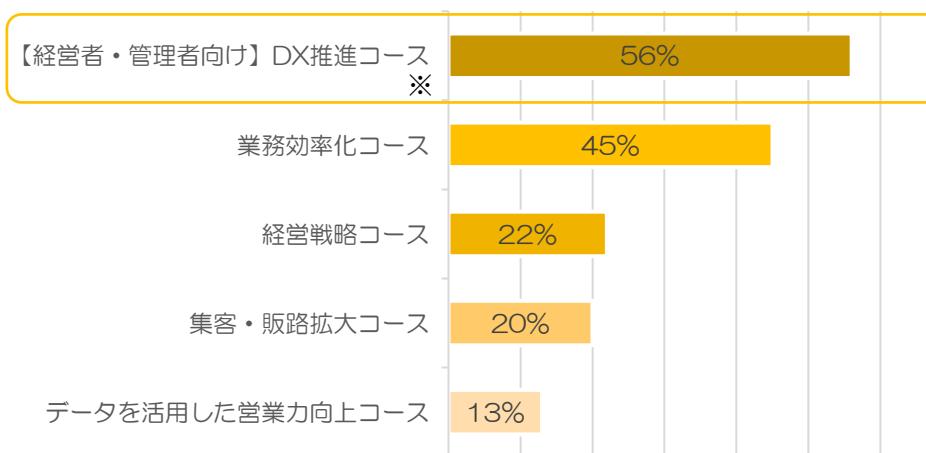
従業員規模別受講状況（社数）

従業員規模別	社数	割合
10人未満	44	29%
10人以上30人未満	26	17%
30人以上50人未満	23	15%
50人以上100人未満	32	21%
100人以上200人未満	20	13%
300人以上	5	3%
200人以上300人未満	4	2%
合計	154	100%

業種別受講企業



受講コース内訳



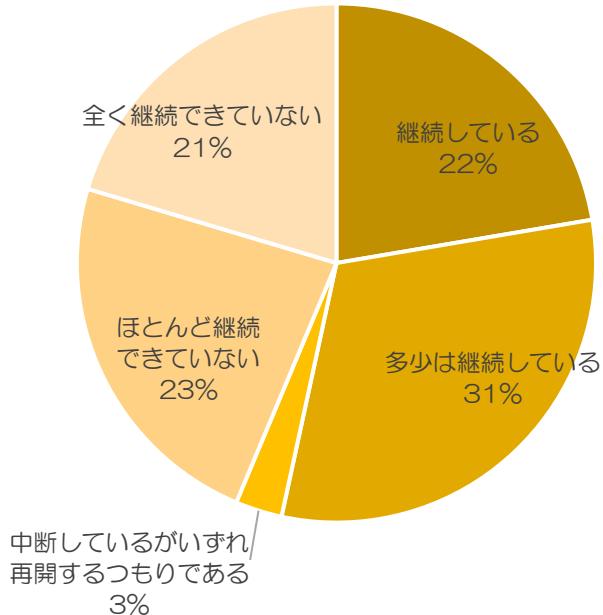
※【経営者・管理者向け】DX推進コースについては、他コースと並行して選択可能なコースのため、受講者全体に対する受講割合を記載

<令和6年度受講者企業への過年度アンケート>

- 本事業終了後の取組みについて確認するもので、令和7年10月6日～10月31日で実施。

【抜粋版：アンケートによる継続度】（回答数：103名）

本事業終了後のリスクリソース継続率



本事業終了後の受講者の変化や成果

（複数回答可）

変化や成果	人数
業務に必要な知識を取得した	60
DXに関するスキルが向上した	53
業務効率化が進んだ	35
社内でDXについて発信・教育する機会につながった	33
新規プロジェクト等を始めるきっかけになった	14
新たな役職につくなど、キャリアアップにつながった	4
キャリアアップの結果、賃金上昇につながった	2
その他	8

以上